



**金メダリスト
濱田尚里選手が来鹿**

11月22日、今年7月に行われた「東京2020オリンピック」の柔道女子78kg級で金メダル、混合団体で銀メダルを獲得した濱田尚里選手が関係者と市役所を訪れました。これは本市生まれの濱田選手が、メダル獲得の凱旋報告のため行われたもの。濱田選手は「目標にしていたメダルを鹿児島に持って帰ることができてうれしいです」と喜びを語りました。



**コロナ対応に携わった
医療従事者等へ感謝**

11月24日、新型コロナウイルス感染症に関してワクチン接種への協力や物品等を寄附していただいた団体・個人に対して、感謝状等の贈呈が市役所で行われました。鹿屋市医師会の小倉修会長は「大隅は1つ」ということで、関係機関とスムーズな連携が図れて乗り切ることができた。第6波も懸念されるので、今後も気を引き締めていきたい」と話しました。



**鹿屋発キックボクサー
2人が訪問**

11月9日、キックボクシング薩摩ジム(串良町有里)を拠点とするキックボクサー2人と関係者が市役所を訪れました。上野賢志選手(写真右)は10月に行われた「KING OF STRIKERS」でスーパーバンタム級チャンピオンを獲得し、ロベス薩摩選手(写真中央)は11月に行われた「RIZIN」に出場。選手によるミット打ちの実演ではスピードや威力に驚きの声があがりました。



**長年会社に貢献した
人材を表彰**

11月11日、鹿屋商工会議所で「令和3年度永年勤続優良従業員表彰式」が行われました。これは企業に長年勤務した従業員を表彰するもの。今年は98人が出席し、表彰状と記念品が贈呈されました。受賞者を代表して株式会社空間デザインにぐちの荒木史也さんは「この感激を忘れることなくさらに会社の期待に添えるよう仕事に励みたいです」と話しました。



**オンラインで
販路開拓**

11月16日、市内のホテルで「鹿児島県産品×沖縄国際物流ハブ海外輸出オンライン商談会」が行われました。これは沖縄県の物流機能を活用し、県内特産品の海外輸出を促進することを目的とした商談会で、今回は鹿児島市と鹿屋市の2会場で同時開催。この日鹿屋会場に参加した市内の企業11社は、沖縄のバイヤーと活発な商談を交わしていました。



**1球ごとに
狙いを定めて**

11月16日、かのやグラウンド・ゴルフ場で「南日本新聞社杯グラウンド・ゴルフ鹿屋大会」が行われました。今年で9回目の開催となるこの大会には、遠方からは沖永良部島から参加があり、県内172チーム860人が参加し熱戦を展開。30mのニアピンゲームで争われた総合優勝決定戦を満石勉さん(大崎町)が制し、表彰式では喜びを語りました。



**大学生とともに
地域防災を考える**

11月14日、天神町内会で避難訓練が行われました。訓練では、大雨警報の発令後に土砂災害が発生したことを想定し、自主防災組織や消防団が呼び掛けを行い、町内会の住民が避難を実施。この訓練には大阪大学の学生も同行し、住民にインタビューを行うなど避難訓練についての調査を行い、学生の視点から訓練への意見をもらいました。



**秋の夜長に
美しい音楽の調べ**

11月14日、市立図書館で「秋の音コンサート」が行われました。今回演奏したのは、鹿屋市文化会館楽団プロジェクトメンバー。コンサートはクラシックを中心にポップスやジャズなど合計8曲が演奏されたほか、映像に合わせた演奏も行われました。訪れた人は様々なジャンルの曲と美しいアンサンブルを楽しんでいました。



**町内会が連携して
ハマグリ放流**

11月23日、高須・浜田海岸でハマグリ放流が行われました。これは、高須・浜田地区のにぎわい創出のために両町内会が実施したもの。当日は漁船からハマグリ約1,200個の放流を行いました。



**戦没者へ哀悼の意を
捧げる**

11月20日、市体育館で「令和3年度戦没者追悼式」が開催され、約160人が参列しました。式では出席者による献花などのほか、柴田椿さん(鹿屋小6年)による平和へのメッセージが読み上げられました。



**命を吹き込まれた
人形が舞台上で躍動**

11月18日、市文化会館で鹿屋市自主文化事業の人形劇団ひとみ座「美女と野獣」の公演が行われました。創設73年のベテラン人形劇団の卓越した人形さばきで、訪れた人は物語の世界に浸っていました。



**シニアスポーツライフを
楽しむために**

11月17日、県民健康プラザ開設20周年事業として「アクティブシニアを目指すスポーツ栄養講座」が行われました。参加者は自分の身体に合わせた食事や運動について理解を深めていました。



**コーヒーでつなぐ
新しい交流の輪**

11月14日、KITADA SARUGGAで「趣味と出会いをつくるしゅみたす」が開催されました。今回は実演を交えたドリッブコーヒーの淹れ方のコツを学び、参加者同士が交流の輪を広げていました。



**読書推進の取り組みを
たたえて**

11月10日、読書活動に取り組んでいる功績が認められた串良小学校読み聞かせグループ「こころのしずく」と東原小学校、永年勤続として市立図書館の図書司書2人が市役所で表彰を受けました。